

三熊会 “日帰り旅行” 三崎漁港、戦艦「三笠」巡りの旅ご案内（概要）

2022. 07. 31 Rev. 0. 1

（主催）三熊会 （共催）ハイキング同好会

久しぶりに、三熊会日帰り旅行として、三崎漁港、戦艦「三笠」巡りのバス旅行を計画致しました。コロナ感染症の第七波が始まっておりますが、実施時期に少しは収まってくることを期待して、三熊会のイベントで旧交を温められたら良いかと、以下に概要のご案内をいたします。

- 1, 日時 2022年10月7日(金)
- 2, 行先 神奈川県 三崎漁港、世界三大記念艦「三笠」
- 3, 参加費 7,900円(25名参加の場合)当日徴収(20名 ¥9,200参加人数により変更あり)
---昼食(鮪三昧御膳)(2,100円)、及び「三笠」の見学料(500円)を含む ---
尚、1週間前以降のキャンセルについては、キャンセル料のご負担をお願い致します。

3, 行程概略

籠原駅南口(7:30)--熊谷駅南口(8:00)--三芳PA(休憩)--大黒PA(休憩)--三崎漁港・庄和丸(昼食)(11:30~12:15)--うらりマルシェ(買物)(13:00)--「三笠」(13:45~14:30)--大黒PA(休憩)--三芳PA(休憩)--熊谷駅南口(18:00)--籠原駅南口(18:30)

4, 注目個所について

「三崎漁港」：大正11年に三崎漁港は開設される。昭和30年代に入ると、冷蔵庫を持った冷凍船が出来、マグロの遠洋漁業がはじまる。昭和43年3月、市場を全面改築し三崎港魚市場が完成した。

平成4年から、魚市場製氷工場、超低温魚市場冷蔵庫を建設。平成6年には新港魚市場が完成し、現在、市場業務はこちらで行われている。1日に取扱われるマグロは、400~1,000本となっており首都圏を中心に毎日出荷されている。

「三笠」：1905(明治38)年日本海海戦で歴史的勝利、ワシントン軍縮条約に調印した我が国は、大正12年9月、日露戦争の勝利に貢献した戦艦「三笠」を、独立を守った誇りの象徴として永久に残すべきとの声が高まり、記念艦としての保存が決定され、国際軍事委員会に於いても承認された。1926(大正15)年記念艦として保存、1961(昭和36)年往時の姿に復元。

5, その他・雨天決行(天候事情により中止の場合、前日までに連絡します。)

・申込は各科理事あて8月15日(月)まで、出欠にかかわらずご連絡下さい。



各科理事：	福祉・環境科	大澤 健	090-5406-0399	ken.oosawa@dream.jp
	ふるさと伝承科	高橋 潤	090-8119-5822	takahashi155@kcf.biglobe.ne.jp
	美術工芸科	佐々木 泰	080-3486-1442	trrsasaki.jp@yahoo.co.jp
	ふるさと伝承科	加藤 治朗	090-1894-1679	jkatoh19@sirius.ocn.ne.jp